

令和5年度 立川市立新生小学校 学校評価計画・報告書

【考察について】

自己評価結果(ABC)や年間を通しての保護者・地域からのご意見、教員からのヒアリング等を受け、来年度に向けた改善策につながるよう考察を行います

【改善策について】

来年度に向けて校長が作成する学校経営計画に反映させます。

Main table with columns: 重点的に進める目標, 昨年度設定した改善策の概要, 評価項目, 評価方法, 結果(%), 考察, 学校関係者評価の概要, 改善策. Includes handwritten notes and callouts.

【重点的に進める目標について】
○学校が推進することはたくさんありますが、その中で、
◆確かな学力の向上
◆ゆたかな心の向上
◆地域と共に歩む学校づくり
の3つを重点的に進める目標として設定しました。

【成果目標について】
◆学校がどういふ成果を目指すのかを、成果目標として示しています。
◆「学力の向上」や「ゆたかな心の向上」の成果目標は、子どもの具体的な能力・態度の向上を目標にしています。

【取組目標について】
○学校が成果目標を目指して、どういふ取組を充実させるのかを、取組目標として示して

【自己評価について】
それぞれの評価項目に関するアンケートを実施して4段階で評価し、そう思う、又は少しそう思うと回答した人(肯定的な評価)の割合が80%以上をA、70~80%をB、70%以下をCと自己評価します。

【評価方法について】
◆成果目標については、児童と保護者の方に、評価項目に関する調査等を行い、その達成状況を把握します。
◆取組目標については、成果目標の達成状況も加味しながら、教員自身がその取組状況を評価します。
◆評価は4段階で評価します。

【学校関係者評価について】
◆立川第八中学校区の学校運営協議会の方に記入をお願いする評価です。
◆学校が行う、考察も含めた自己評価の内容に客観性と妥当性をもたせるためにを行います。
◆自己評価と考察の内容が適切か、来年度に向けて改善策を作成する上で加味する必要がある点があるかなどを評価していただくとともに、感じたことや要望事項

豊かな心の向上

地域と共に歩む学校づくり

◆すべての教科のベースとなる国語力の向上
◆ICTやデジタル教科書の利活用
◆「比較・関連させる場面」や「既習事項の定着・活用」「根拠を明確にして考える学習活動の工夫」の充実
◆楽しく学び意欲を高める学習環境の整備と手立ての工夫
◆自らの学びを振り返り、次の学び・行動につながるまともな学習の重視
◆本校が目指す「課題解決力」を育成するための、各教科等における重点を置く単元の設定
◆企業と連携した、国語の「学力確認テスト(仮称)」の活用
◆個人面談等の機会を通して、「学力確認テスト(仮称)」の結果等をコミュニケーションツールとして、学校と各家庭が一人一人の状況や、学力向上に向けた取組について共通理解を図る。
◆学校より等、HPの活用を通して、子どもの学力や学習の様子、学力向上策の状況について情報提供を行う。
◆授業参観については、その機会を2回増やすとともに、授業のわらわらやまなざしを流し、身に付けさせた力について事前に知らせる。
◆新しい組織である、表現力推進委員会において、立川市民科と学級会活動を中心に、子どもたちの思いや願いを大切にしながら、探究的な活動や自発的自立的な活動の充実を図る。
◆立川市民科については以下の点から充実を図る。
○今までの指導計画を見直し充実を図るとともに、カリキュラムマネジメントを意識して、他教科との関連を明確にする。

◆自己肯定感を高める力の向上
○左記に関する保護者及び児童アンケートを実施し、肯定的な回答を8割以上にする。
◆自己肯定感を高める言葉かけの重視
◆自分たちのよさを自覚し発揮し認め合える場の設定
◆自分自身を振り返り次につなげていく取組の重視

◆新しく設置する表現力推進委員会を中心にして、以下の点から立川市民科の充実を図る。
○今までの指導計画を見直し充実を図るとともに、カリキュラムマネジメントを意識して、他教科との関連を明確にする。
◆保護者・地域と連携・協働した学習の充実を図る。
◆学校における働き方改革の推進を図りながら、学習指導要領の内容に沿った学力向上・授業改善を図るために、学校行事の精選を図り、新しい形の保護者・地域の方を対象にした学校公開の方針・方向性を明確にする。
◆「自転車教室」は、本校が置かれている地域の実情に即して、PTAや地域関係機関と役割分担しながら、連携・協働して実施する。
◆今年度から実施している年間2回の保護者個人面談を来年度も継続して実施するとともに、日常的な報告・連絡・相談を含め、保護者・地域のニーズに寄り添い、きめ細やかで親身になった丁寧な対応を心がける。
◆ICTを活用して、学校ホームページ等を通して、タイムリーな情報提供や意見把握を推進していく。